

共同研究グループ活動報告（2025年度）

スペイン語圏トランスナショナル・ヒストリー

【研究打ち合わせの実施】

①2025年6月1日：高垣敏博氏（東京外国語大学名誉教授／元神奈川大学外国語学部特任教授）とラディーノ語（ユダヤ・スペイン語）についての意見交換を行った。（参加メンバー；黒田）

②2025年7月4日：ラテンアメリカ研究者〔梅崎かほり氏（本学外国語学部准教授）〕、スペイン美術史研究者〔木下亮氏（昭和女子大学名誉教授／神奈川大学外国語学部非常勤講師）〕を交えて、分野横断型の研究の可能性について議論した。（参加メンバー：立石、菊田、黒田）

③2025年7月14日：高垣敏博氏（東京外国語大学名誉教授／元神奈川大学外国語学部特任教授）に加え、スペイン語教育研究者〔落合佐枝氏（本学外国語学部特任准教授）〕、ラテンアメリカ研究者〔梅崎かほり氏（本学外国語学部准教授）〕を交えて、スペイン語の地域のヴァリエーションについて議論した。（参加メンバー：菊田、黒田）

【メンバーによる著作・論文】

黒田祐我『世界史のリテラシー 「再征服」は、なぜ八百年かかったのか——レコンキスタ』NHK出版、2025年。

立石博高「スペインのカトリック両王と《Tanto Monta》（その1）」

『人文学研究所報（神奈川大学人文学研究所）』74（2025年）、143-154頁。

立石博高「スペインのカトリック両王と《Tanto Monta》（その2）」

『人文学研究所報（神奈川大学人文学研究所）』75（2026年）所収予定。

【メンバーによる外部講演】

黒田祐我『歴史のなかで育まれた「スペイン」—異種混淆的な文化形成』横浜スペイン協会、2025年10月25日、かながわ県民センター711号室。

立石博高『『カトリック両王の聖母』画と異端審問制、アビラの聖トマス王立修道院』

スペイン歴史文化談話会、2025年11月30日、オンライン。

（文責：黒田祐我）